

千葉学習塾協同組合創立三十周年記念講演

世界、私が出会った子供たち

世界の辺境、紛争地域を取材し続ける写真家

長倉洋海氏のレンズがとらえた紛争地におい

ても家族と支えあつて生きる子供たちの笑顔



長倉洋海(ながくら ひろみ)

1952年、北海道釧路市生まれ。京都での大学生時代は探検部に所属し、手製筏による日本海漂流やアフガニスタン遊牧民接触などの探検行をする。1980年、勤めていた通信社を辞め、フリーの写真家となる。以降、世界の紛争地を精力的に取材。中でも、アフガニスタン抵抗運動の指導者マスードやエルサルバドルの難民キャンプの少女ヘスースを長いスパンで撮影し続ける。戦争の表層よりも、そこに生きる人間そのものを捉えようとするカメラアイは写真集「マスード 愛しの大地アフガン」「獅子よ眠れ」や「サルバドル 救世主の国」「ヘスースとフランシスコ エルサルバドル内戦を生き抜いて」などに結実し、第12回土門拳賞、日本写真協会年度賞、講談社出版文化賞などを受賞した。

2004年、テレビ放映された「課外授業・ようこそ先輩『世界に広がれ、笑顔の力』」がカナダ・バンフのテレビ祭で青少年・ファミリー部門の最優秀賞「ロッキー賞」を受賞。2006年には、フランス・ペルピニャンの国際フォトジャーナリズム祭に招かれ、写真展「マスード敗れざる魂」を開催した。

2016年には写真と文からなるノンフィクション「エルサルバドルの少女 ヘスース」を中学3年生の国語の教科書(光村図書)のために書き下ろした。2017年3月から5月まで東京都写真美術館にて写真展「フォトジャーナリスト長倉洋海の眼〜地を這い、未来へ駆ける」を開催、2017年9月9日にはマスードの故郷の教育支援を取り上げた「アフガニスタン 山の学校の記録-マスードと写真家長倉洋海の夢」がNHKのETV特集で放送され、大きな反響を呼んだ。

2017年 **11**月**26**日(日)
14:45-16:45

東京ベイ幕張ホール

千葉市美浜区ひび野 2-3 アパホテル&リゾート



千葉県認可 **千葉学習塾協同組合**

〒273-0003 千葉県船橋市宮本 1-22-13 プロシード船橋宮本 201号

